

1 次のお話を読みましょう。

12月25日のクリスマスはイエス・キリストの誕生を祝うお祭りです。しかし、キリストの誕生日が12月25日というのは定かではありません。日本では、1年で一番夜が長く、日が短い日を冬至①と言いますが、キリストの誕生を祝う日も、太陽の力が再びよみがえる日がふさわしいという事で、1年で一番日が短い日を選んでと言われています。

サンタクロースのモデルとなったのは現在のトルコに実在したカトリック教会の司教しきょう、セント・ニコラウスと言われています。彼は、貧しい家の子どものために、煙突からコインを投げ入れました。それが、暖炉だんろに干してあった靴下の中に入ったことが、サンタクロースが煙突から入り靴下にプレゼントを入れる由来と言われています。また、クリスマスにはツリーを飾ります。ツリーの一番上には星を飾るのが一般的です。この星はイエス・キリストが生まれた時頭上に輝いていた星を象徴しており、『希望・輝き・賢者』という意味もあります。ツリーの飾りには、ボールのようなオーナメントや杖の形をしたキャンディケインなどもあります。アメリカではクリスマスは家族で過ごす一年の中でも大切な行事の一つです。当日はほとんどのお店が閉まって街は一変し、日本のお正月のような過ごし方をするそうです。

さて、日本でクリスマスが広まったのは明治時代です。いち早く生活にクリスマスの文化を取り入れたのは俳人で歌人の正岡子規まさはらおかしきと言われています。大正時代になると、お菓子の輸入をしていた会社が初めて街にイルミネーションを飾ったとされており、クリスマスイベントなども開かれるようになりました。それが、現在のデパートのクリスマス

